

1. 平成25年度において取り組むべき事項

(1) 推進本部組織の立ち上げ

(2) 阿寒湖世界自然遺産登録地域連絡会議の開催

(3) 市民に対する機運醸成のための取組

(4) 学術的知見の集積

(5) 国(環境省・林野庁)への要望活動、学術的資料の提供

(6) 国の検討会議メンバーへのアプローチ

世界自然遺産登録に向けた平成25年度の取組について

2. 推進本部組織の立ち上げ

- ・平成24年度に立ち上げた「庁内調整会議」を格上げ

推進本部

名称 釧路市世界自然遺産登録推進本部

目的 阿寒湖の世界自然遺産候補地登録に向けた情報共有・合意形成を総合的かつ効果的に推進する。

所掌
事務

- 1 阿寒湖及びその周辺地域の世界自然遺産候補地登録に係る総合調整
- 2 世界遺産登録に向けた運動の展開、普及啓発及び情報発信に関する基本的事項
- 3 国、ユネスコ及びその他の関係機関との協議調整に関する事項
- 4 その他目的達成に必要な事項

構成

本部長：釧路市長
副本部長：両副市长・教育長・阿寒町行政センター長
本部員：総合政策部長・産業振興部長・市民環境部長・生涯学習部長

専門部会

名称 釧路市世界自然遺産登録推進専門部会

目的 各種事業の企画・立案、個別事業の具体的内容の調整

構成

部会長：総合政策部次長（都市経営課長）
部会員：生涯学習部次長（生涯学習課長）観光振興監・市民協働推進課長・環境保全課長・湿地保全主幹・阿寒観光振興課長・阿寒町行政センター次長（地域振興課長）・阿寒町行政センター次長（阿寒湖温泉支所長）・阿寒生涯学習課長・博物館長・都市経営課長補佐・市民協働推進課長補佐・環境保全課長補佐・阿寒観光振興課長補佐・阿寒地域振興課長補佐・阿寒湖温泉支所長補佐・生涯学習課長補佐・阿寒生涯学習課長補佐・釧路市博物館長補佐

世界自然遺産登録に向けた平成25年度の取組について

3. 有識者会議の立ち上げ

有識者会議

名称 釧路市世界自然遺産登録有識者会議

目的 阿寒湖及びその周辺地域の世界自然遺産への登録に向けた学術的な調査研究、専門的意見の集約

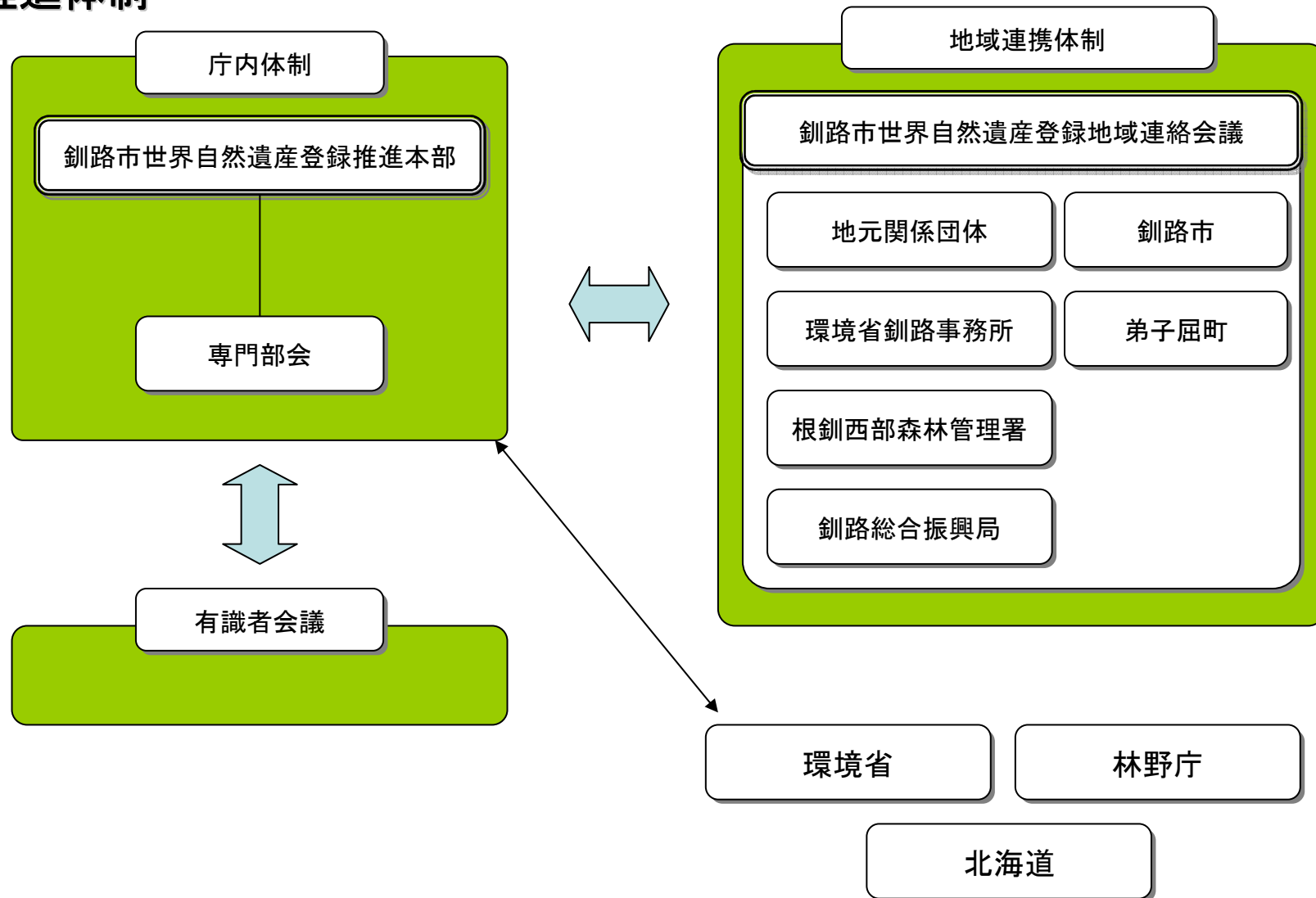
構成
外部の学識経験者（未定）
・北海道教育大学釧路校、釧路公立大学、釧路短期大学等
・北海道大学
内部学識経験者
・マリモ研究室長・博物館学芸員

4. 組織の立ち上げ時期等

- ・平成25年度4月下旬「推進本部」を立ち上げ
- ・当面平成25年度中を想定
- ・有識者会議は、別途設定

世界自然遺産登録に向けた平成25年度の取組について

5. 推進体制



世界自然遺産登録に向けた平成25年度の取組について

6. 庁内各部署の役割分担

推進本部 世界遺産登録の取組方針、全体調整

総合政策部 推進本部関係、地域連絡会議関係の庶務、総合調整、有識者等へのアプローチ全般、市民向け啓発

生涯学習部 学術的知見の集積、調査研究、学識経験者等との連携、啓発活動

市民環境部 国立公園、自然環境分野における助言、調整、啓発活動

産業振興部 観光面からのアプローチ、観光関係団体との調整、啓発活動

**阿寒町
行政センター** 地元関係団体との調整、啓発活動

世界自然遺産登録に向けた平成25年度の取組について

7. 阿寒湖世界自然遺産登録地域連絡会議の開催

- ・ 地元関係機関、地域団体との情報共有、運動の展開
- ・ 年3回を予定（国の検討会メンバーの講演などを想定）

8. 市民に対する機運醸成のための取組

- ・ 一般市民向けのフォーラム等の開催を検討

9. 学術的知見の集積

- ・ 若菜マリモ研究室長の論文の取りまとめ

10. 国への要望活動、学術的資料の提供

- ・ 期成会要望として、7月の中央要望による展開
- ・ 既存の学術資料等の概要版を作成し、環境省、林野庁へ提供

11. 国の検討会メンバーへのアプローチ

- ・ 検討会メンバーへの資料提供、情報提供活動の展開

世界自然遺産登録に向けた平成25年度の取組について

12. 今年度の活動スケジュール

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国の動き	検討会の事務方調整						検討会の開催					
推進体制	推進本部・専門部会						有識者会議					
連絡会議	地域連絡会議		地域連絡会議		地域連絡会議		市民向けの機運醸成の取組					
要望活動	中央要望			学術資料の提供								
学術研究	学術研究・論文取りまとめ						学術研究資料の国への提供					
アピール活動	検討会メンバーへのアピール						市民等への機運醸成					